

キンジー・リドナー・ベッカー&クスラー法律事務所

キンジー・リドナー・ベッカー&クスラー法律事務所は、民事、商事を問わず皆さまの法律上のご相談に応じます。
当事務所は適格な法的助言を適正な報酬で提供することを目的に運営されています。

当事務所は、地方都市、州、連邦の裁判所に関する訴訟問題、企業の設立とその企画、商取引、財産管理、遺言検認、遺言、信託、行政上の法律的問題、州内及び各州間のトラック輸送規則に関する問題、自動車ディーラー、不動産の認可に関する諸問題を取り扱い、専門の知識をもった弁護士が適切な対処を致します。その他コンピューターに関する法律上の問題、争議の解決、倒産、家族法等も取り扱います。当事務所はネブラスカ州内だけではなく、広い地域から依頼を受けています。リンカーンは業務を遂行する上で、すぐれた発信基地であることはすでに証明済みです。すでに国内ビジネスでは、ニューヨークからカリフォルニアまで、国際ビジネスでは香港からモスクワまで、多くの企業及び個人から依頼を受けてきました。

複数の弁護士の他、優秀で誠実な法律業務専門のアシスタント、秘書、調査員、職員がチームとなって業務にあたっています。

企業の問題であれ、個人の問題であれ、それらの法的解決を円滑にするために必要なのは、質の高い弁護士です。当事務所は、皆様の、そのご要望に十分おこたえできる高い内容をもっております。ぜひ当事務所にあなたの法律問題をおまかせください。きっとご満足いただけると信じます。

国際法「グローバル化した経済状況に対応できる能力」

より単純な時代には、あなたのビジネスは地域間の取引で成り立っていたかもしれませんが、しかし今や市場は日に日にグローバル化しています。その市場に参加するには、国際的競争力を身につけなければなりません。

現代は、多くのアメリカ企業が、必要な製品を国外に求め、外国の企業は、同様のものをアメリカに求めるといった時代です。

国際的事業への進出は大きなチャレンジですが、同時に、その成功のためには、国際的事業に熟達した経験豊かな相談役をもつことが必須条件になってきます。

キンジー・リドナー・ベッカー&クスラー法律事務所は、ご要望に対応できるよう態勢を整えてお待ちしております。

開設当初から、私たちの事務所は、国際的な取引の仲立ちとして、多くの業務を行ってきました。外国との商取引を求めるアメリカ企業からの依頼もありましたし、アメリカ市場へのアクセスを求める外国企業からの依頼もありました。

以上のような豊富な経験から、国境を越えて結ばれる契約の交渉、国際取引のための融資、及び外国のパートナーとの良好な関係の保持等について、当事務所は、皆さまに満足いただけるご奉仕ができると考えます。

国際市場で成功するには、すぐれたビジネス・センスや有能な弁護士をもつだけでなく、それ以上の何かが必要です。それは、外国の文化やビジネス習慣を理解しよう

とする心です。

外国の企業がアメリカの文化やビジネス慣習を理解することが大切であるように、アメリカ企業が外国の文化やビジネス慣習を理解することも大切です。当事務所は双方の理解を深めるための最善の手助けを提供できると信じます。

当事務所は、これまで、アンティクア、バルバドス、ドイツ、香港、ラトビア、ロシア、タジキスタン及びトルコなどの国々の事業家たちから依頼を受け、多くの国際的商取引にかかわって来ました。今後も、アメリカ側の依頼人と協力して、それらの国々の企業家たちの、国際的事業への参加をよりスムーズにするための、あらゆるお手伝いをさせていただく覚悟です。

ブレント・ウォルゼン氏紹介

弁護士ブレント・ウォルゼン氏は、1985年ネブラスカ州ヘイスティングス大学で学士を、ケンタッキー大学大学院で実験心理学のマスターをそれぞれ取得。その頃法律に関心をもつようになったが、異文化に触れて見聞を広めたいとの願いから、日本の文部、自治、外務三省による教育事業に参加、熊本県に配属。熊本県大津町に滞在中、彼の発案で、ネブラスカ州のヘイスティングスとアラパホ両市と、大津町との間に姉妹都市のきずなが結ばれることとなり、その後も姉妹都市のプログラムは継続され、今日まで双方合わせると数百人の人びとが太平洋を越えて往来し、相互の交流を深めている。

ブレント氏の功績をたたえて、大津町は彼を「ネブラスカの海軍提督」と命名。日本滞在中は、国際交流員として貢献した他、私立大学の英語教師、化学及び血清研究所のコンサルタントなどの仕事にも従事した。日本の田舎を自転車で走り回り、伝統的な日本文化を楽しんだ。

7年間の日本滞在の後、アメリカに帰国。ネブラスカ大学で法律を学びながら、法学生の模擬法廷や、依頼人—カウンセリング・コンペティションに参加し、仮想法律問題に対する弁論大会や全米審理チームのメンバーとしても活躍、訴訟—技術証明書を取得した。

ブレント・ウォルゼン氏は、一般訴訟の他、会社法、特に入国管理法、国際法に係る分野を担当している。氏はネブラスカ州とサウスダコタ州において弁護士として資格を有し、リンカーン弁護士会、ネブラスカ州弁護士会、アメリカ弁護士会、アメリカ入国管理弁護士会に所属している。妻ホングとの間に長女ハナがいる。